磐田市在宅医療介護連携推進協議会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和５年１０月１１日（水）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　午後7：00～午後8：30

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　磐田市役所4階　大会議室

1. 開会
2. 委任状交付　　　２年間の任期
3. 課長挨拶　　　　稲垣　美千代様よりご挨拶
4. 各委員の自己紹介
5. 会長・副会長の選出　会長　磐田市医師会：磐田在宅医療クリニック　福本和彦医師

　　　　　　　　　　副会長　磐田市立総合病院：地域医療センター　望月孝裕医師

６,会長・副会長挨拶

７,協議事項

1. 在宅医療・介護連携推進事業について

介護の人員不足が問題になっているが他の業界も人員不足（タクシー・営業でも　　人員不足）

磐田市は県内でも、通いの場は多い

・通いの場へ行ける場合はよいが、相談することもできずにいる場合は、地域の中に隠れて見つけにくくなる。相談するタイミングが大切。

・本人の力があるうちに、本人ができることを見つけてフレイルの状態の人を改善し自立に導くことが大切。

1. 緊急情報シートについて

　　　救急搬送の際に同乗者がなくても大丈夫になっている分、独居や高齢世帯等が多い為、緊急情報シートがあると助かる。

　　　緊急キッドはこれまで冷蔵庫に入れていたが、今後はどこに保管するのか統一が必要ではないか（A4用紙１枚の為）。

　　　初回訪問時等に、緊急連絡先等を聞きながら、シートを利用している。

以前のシートは書きにくかったが、現在のものは解りやすい。シートが変わっていることを知らない市民や民生委員も多い。

1. 市の取り組みについて

　　私と家族の安心ノート

・住民になかなか知られていない。

・認知症になってからでは、記入できない項目がある。元気なうちに活用できること

　　　が理想的。

８，その他

キーパーソンの不在が問題になっている。

総合病院に救急搬送や受診をしても治療ができない。（警察に協力をお願いしている）

・在宅クリニックが準備し記載しているあんしんファイルを忘れてしまう為、治療経過が不明やキーパーソンが不明。

・看取りが多い為、死亡診断書を渡す人を確認している。

・包括では保証人がおらずに困るケースが多い。介護サービスが使えない。

・事業所はケアマネがついていれば安心なケースもあるが、ケアマネは困ってしまい包括に相談する。

・施設は措置の時代は情報があったが、近年は個人情報の関係もあり情報が少なく困ることもある。

・入所してすぐに看取りの話等をするが、家族はまだ先と考えているケースもある。

９，閉会